

知夫村地域 循環型社会形成推進地域計画

島根県 知夫村

平成 24 年 10 月 1 日

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名 知夫村（添付資料 1 参照）

特定農山村地域、過疎地域、離島振興対策実施地域

面積 13.70km²

人口 602 人（平成 24 年 4 月 1 日現在）

(2) 計画期間

本計画は、平成 25 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの 5 年間を計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会情勢等の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

知夫村地域（以下「本地域」という。）は、島根半島沖合の北方約 44km の日本海に浮かぶ隠岐諸島の最南端に位置する知夫里島及びその付随島嶼を行政区域とする一島一村の村である。本地域は隠岐国立公園に属し日本ジオパークに認定され、赤壁、赤ハゲ山などの自然環境景観資源を有しており、約 15,000 人の年間観光客入込み数は増加傾向にある。

本地域は、生産年齢人口の島外流出に伴う人口減少と少子高齢化が著しく進行し、産業の停滞や地域コミュニティの存続への不安など、大変厳しい状況に直面している。一方で、入れ込み観光客数の全体の 8 割が 7・8 月に集中し、出郷者の帰省時期とも重なることから、両月に収集するごみの量は通常の約 3 倍にもなり、狭隘な焼却場で長期間に渡り仮置きしている状況である。また、平成 22 年度からは海岸に漂着するごみの収集・処分を実施しており、年間のごみの総排出量は前年度 154 t の約 2 倍の 314 t に膨れ上がった。

本地域では、平成 5 年度よりごみ処理の有料化、平成 22 年度よりマイバッグ運動・レジ袋対策を実施して、一定の効果が得られているが、観光客入込み数の増加や漂着ごみへの対応などの課題を抱えている。また、供用開始から 24 年を経過しているごみ焼却設備においては、耐火レンガの更新などの費用が嵩んでいる。

今後は、ごみの有料化を見直しして、更なる意識啓発により減量化を図るとともに、老朽化しているごみ焼却設備の撤去、新たな高機能設備を導入して、ごみ処理の適正化と環境負荷低減を図っていく。

(4) 広域化の検討

島根県隠岐郡の島前3町村は、島前町村組合が運航する1日20便の航路で結ばれており、日常生活で往来がある。資源ごみの処理については、各町村が独自で施設を整備するよりも、1箇所に集約して広域処理する方が、高効率であることから、今後とも3町村で連携して広域処理を図っていく。

2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物処理の現状

知夫村地域における平成23年度の一般廃棄物の排出・処理状況は、図1に示すとおりである。

年間の総排出量は206トンであり、再生利用される「総資源化量」は6トン、リサイクル率（＝（直接資源化量＋中間処理後の再生利用量＋集団回収量）／（ごみの総処理量＋集団回収量））は2.9%である。

中間処理による減量化は97トンであり、排出量の概ね5割が減量化されている。また、排出量の約50%に当たる103トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち焼却量は105トンである。

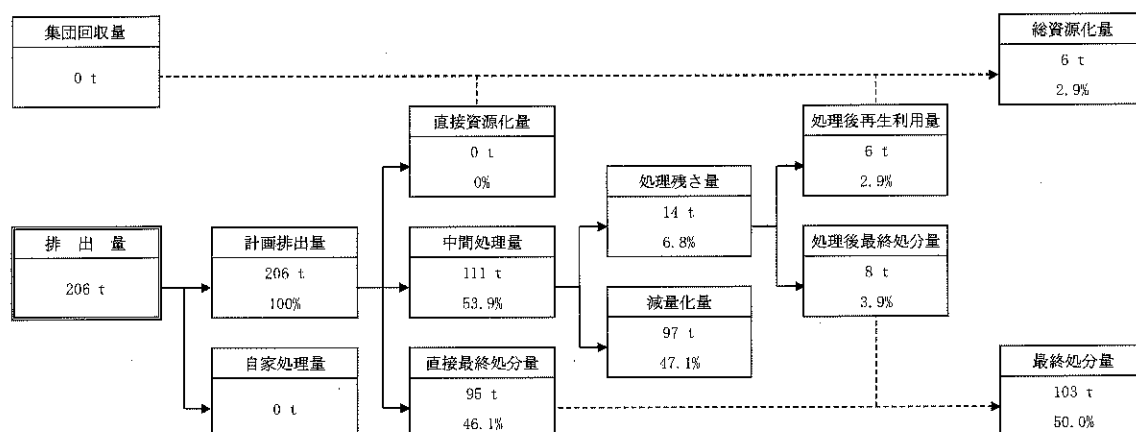


図1 一般廃棄物（ごみ）の排出・処理状況フロー（平成23年度）

(2) 一般廃棄物処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表1のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現状(割合※1) (平成23年度)	目標(割合※1) (平成30年度)
排 出 量	事業系 総排出量	0 トン	0 トン (0.0%)
	1事業所当たりの排出量※2	0 トン/事業所	0 トン/事業所 (0.0%)
	家庭系 総排出量	206 トン	165 トン (-19.9%)
	1人当たりの排出量	326 kg/人	304 kg/人 (-6.7%)
	合計 事業系家庭系排出量合計	206 トン	165 トン (-19.9%)
再生利用量	直接資源化量	0 トン (0.0%)	0 トン (0.0%)
	総資源化量	6 トン (2.9%)	8 トン (4.8%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	—	—
減 量 化 量	中間処理による減量化量	97 トン (47.1%)	77 トン (46.7%)
最終処分量	埋立最終処分量	103 トン (50.0%)	80 トン (48.5%)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

《指標の定義》

排 出 量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く。)[単位：トン]

再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和[単位：トン]

熱回収量：熱回収施設において発電された年間の発電電力量[単位：MWh]

減量化量：中間処理量と処理後の残さ量の差[単位：トン]

最終処分量：埋立処分された量[単位：トン]

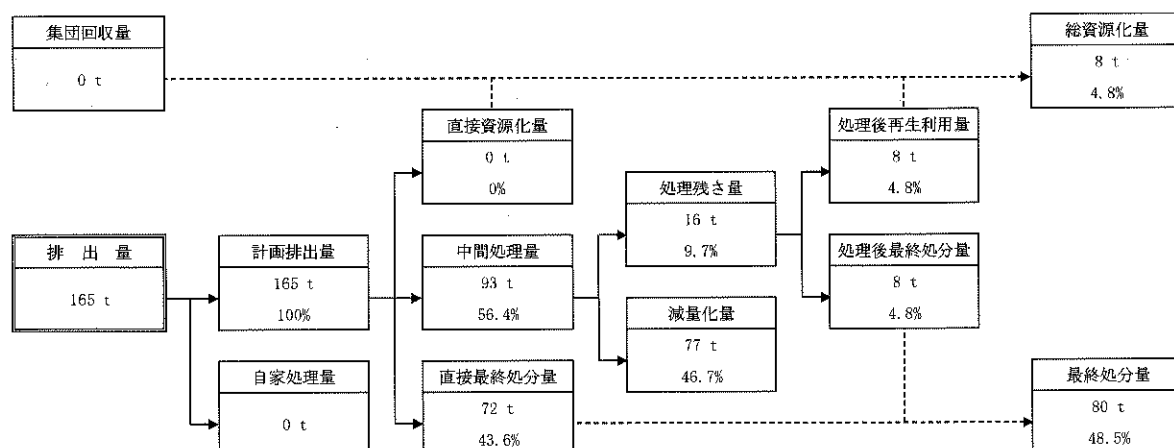


図2 目標達成時の一般廃棄物(ごみ)の排出・処理状況フロー(平成30年度)

3. 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

発生抑制、再使用の推進施策については、表2のとおりである。

表2 発生抑制、再使用の推進施策

施策項目	既存施策	新規施策	計画検討時期	実施時期
有料化	家庭系ごみについては指定袋で収集、粗大・不燃ごみはシールによる有料収集。	排出抑制、排出者負担の原則をめざし、家庭系のごみに対しても有料化を図る。	H. 25～H. 26	H. 27～
環境教育	小・中学校と連携して、ごみ処理施設見学等を通じて、環境教育を行っている。	ごみ処理施設見学等の環境教育を継続する。	検討済み	継続
普及啓発	ごみゼロ、イベントを通じて3Rの普及啓発を行っている。	ごみゼロ、イベントを通じて3Rの普及啓発を行っている。	随時	随時
マイバッグ運動・レジ袋対策	地域の商工会議所等と協力し、レジ袋配布の自粛、マイバッグ運動を推進している。	レジ袋に対して引き続き配布自粛運動を継続する。	検討済み	継続

(2) 処理体制

ア 家庭ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法については、表3のとおりである。

現状、知夫村では可燃物の焼却施設の老朽化が著しい。また、村内には最終処分場や資源化施設を持たないため、粗大ごみ、資源ごみ、燃焼灰等は定期的に村外に搬出している。

今後は、平成26年度を目途に、高効率の可燃物処理設備を導入する。

イ 今後の処理体制の要点

◇ 可燃物として処理される廃棄物については、既存の焼却施設の老朽化に伴い、新たな高効率の設備を導入する。

表 3 知夫村地域の家庭ごみの分別区分及び処理方法の現状と今後

現状（平成23年度）				➡	今後（平成30年度）							
知夫村					分別区分		処理方法		処理施設等		処理見込み（トン）	分別区分
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績（トン）						一次処理	二次処理		
可燃ゴミ（生ゴミ、紙類）	焼却	知夫村焼却場	105		可燃ゴミ（生ゴミ、紙類）	焼却	燃焼	知夫村焼却場	（燃焼灰） 海士町清掃センター	84	可燃ゴミ（生ゴミ、紙類）	
容器包装プラスチック	リサイクル	広域処理	1	容器包装プラスチック	リサイクル	圧縮、売却	海士町清掃センター容器包装プラスチック圧縮施設	広域処理	1	容器包装プラスチック		
ビン類（色別）			3	ビン類（色別）			再資源化		破碎	3	ビン類（色別）	
空き缶			2	空き缶			圧縮、売却		海士町清掃センター缶圧縮機ほか	2	空き缶	
大型ごみ（不燃、プラスチック、金属、乾電池・蛍光灯、布類）	その他	民間処分場	95	大型ごみ（不燃、プラスチック、金属、乾電池・蛍光灯、布類）	その他	埋立	民間処分場		75	大型ごみ（不燃、プラスチック、金属、乾電池・蛍光灯、布類）		

(3) 処理施設等の整備

ア 廃棄物処理施設

整備する施設は、表 4 のとおり行う。

表 4 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	可燃ごみ焼却施設	知夫村地域ごみ焼却施設整備事業（仮称）	1.2t/日	隠岐郡知夫村 1,756 番地 1(ハサリ)	H26

（整備理由）

事業番号 1 既存施設の老朽化による

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3) の施設整備に先立ち、表 5 のとおり計画支援事業を行う。

表 5 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	知夫村地域ごみ焼却施設整備に係る測量・調査・設計業務委託（仮称）	測量、地質調査、基本設計等	H. 25

(5) その他の施策

ア 廃家電のリサイクルに関する普及啓発

廃家電のリサイクルについては、特定家庭用機器再商品化法に基づく、適切な回収、再商品化がなされるよう、関連団体や小売店などと協力して、普及啓発を行う。

イ 不法投棄対策

地域の村内会など一体となった普及啓発により、分別区分の徹底を進めるとともに、パトロールの強化を行い、不法投棄防止を図る。また、不法投棄が確認された場合は、村内放送にて注意を促している。

ウ 災害時の廃棄物処理に関する事項

災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、周辺町との連携体制を構築する。

※ 仮置き場・・・来居港（知夫村）のふ頭用地を候補地とする。

※ 最終処分場・・・民間業者への委託を検討中である。

4. 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

本地域では、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに必要に応じて隠岐島前3町村、島根県、国と意見を交換しつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

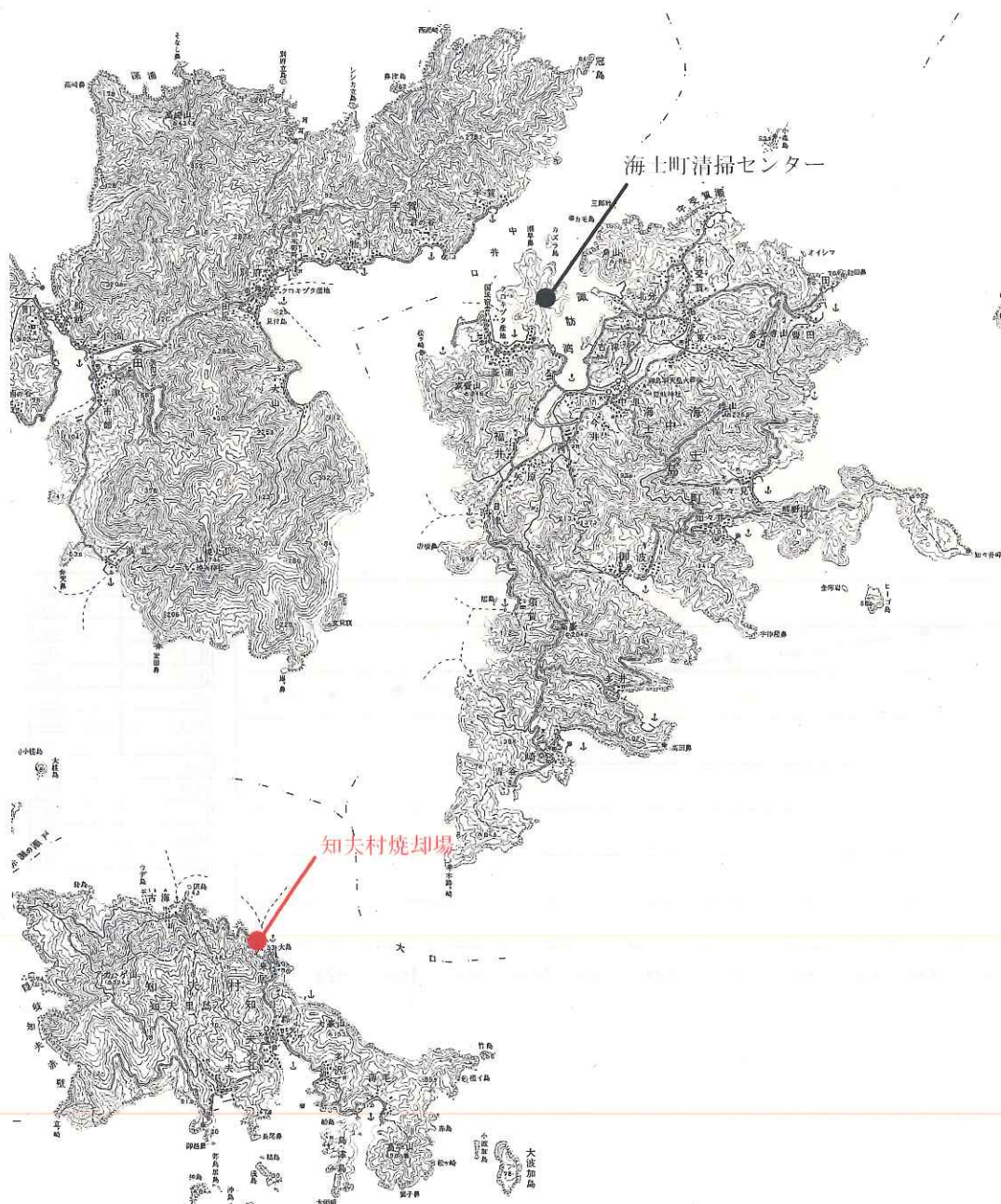
計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、計画の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画を見直すものとする。



位置図



赤文字は整備予定の施設

処理施設の位置図

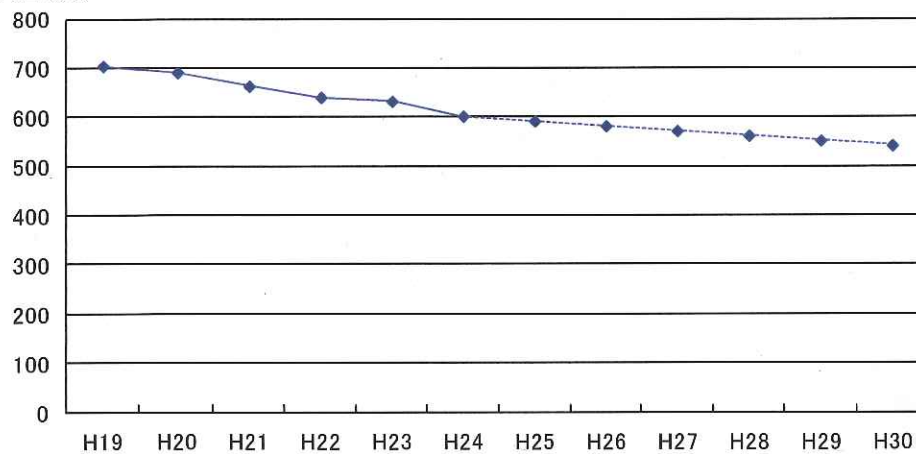
【現有施設の状況】

施設名	種類	対象廃棄物	処理能力	所在地	竣工年
知夫村焼却場	焼却	可燃	0.8t/8h	隠岐郡知夫村	S63
海上町清掃センター	選別圧縮	缶、ビン、 ペットボトル	1t/5h	隠岐郡海上町	H12

添付資料 2-1

行政区内人口

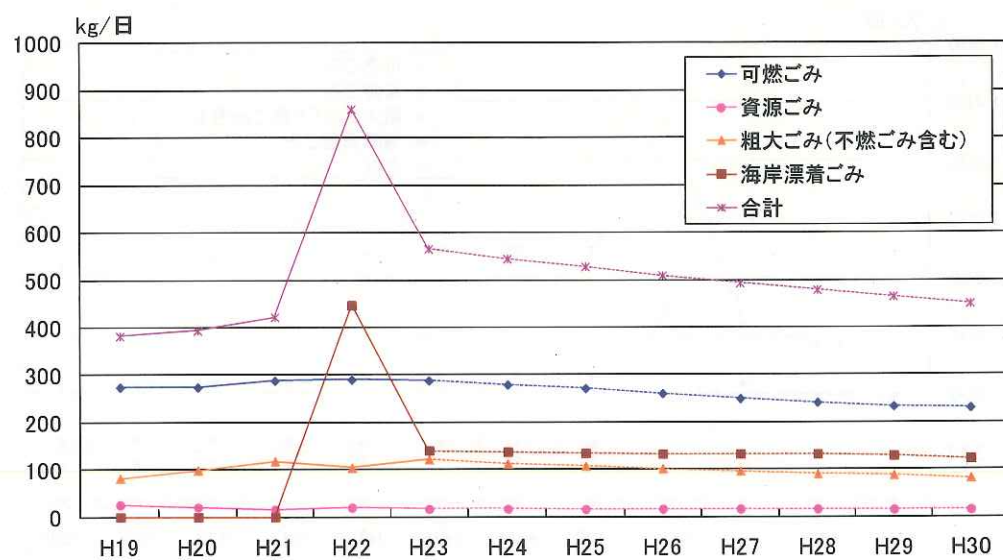
人口(人)



年度	人口(人)
H19	704
H20	691
H21	663
H22	640
H23	632
H24	602
H25	592
H26	582
H27	572
H28	562
H29	552
H30	542

—— 実績
 ----- 将来推計

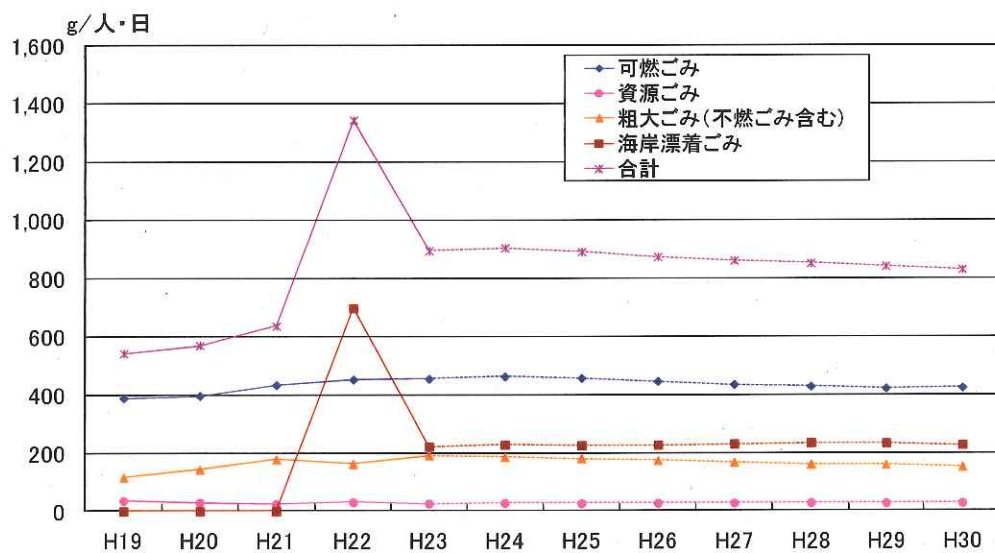
一日当たり排出量



	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
可燃ごみ	274	274	288	290	288	279	271	260	249	241	233	230
資源ごみ	26	21	16	20	17	17	16	16	16	16	15	15
粗大ごみ	82	99	118	104	121	112	107	101	96	90	88	82
海岸漂着ごみ	0	0	0	447	140	137	134	132	132	132	129	123
合計	382	394	422	861	566	545	528	509	493	479	465	450

—— 実績
 ----- 将来推計

一人一日当たり排出量



	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
可燃ごみ	389	397	434	453	456	463	458	447	435	429	422	424
資源ごみ	37	30	24	31	27	28	27	27	28	28	27	28
粗大ごみ	116	143	178	163	191	186	181	174	168	160	159	151
海岸漂着ごみ	0	0	0	698	222	228	226	227	231	235	234	227
合計	543	570	637	1,345	896	905	892	875	862	852	842	830

—— 実績
 ----- 将来推計

現状と将来の処理内訳

[illegible]

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成24年度)

1 地域の概要

(1) 地域名	島根県知夫村地域	(2) 地域内人口	602 人	(3) 地域面積	13.70 km ²	その他
(4) 構成市町村等名	知夫村	(5) 地域の要件※	人口 面積 沖積 (離島) 奄美 豪雪 (山村) 半島 (過疎)			
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村： 設立 (予定) 年月日： 年 月 日 設立、認可予定 設立されていない場合、今後の見通し： -					

※ 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状 (排出量に対する割合)					目 標
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成30年度
排出量	事業系 総排出量 (トン)	0	0	0	0	0	0
	1 事業所当たりの排出量 (トン/事業所)	0	0	0	0	0	0
	家庭系 総排出量 (トン)	140	144	154	314	206	165 (023比-12.5%)
	1 人当たりの排出量 (kg/人)	199	208	233	491	326	304 (023比-6.7%)
合計	事業系家庭系排出量合計 (トン)	140	144	154	314	206	165 (023比-12.5%)
再生利用量	直接資源化量 (トン)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	総資源化量 (トン)	9 (6.4%)	8 (5.6%)	6 (3.9%)	7 (2.2%)	6 (2.9%)	8 (4.8%)
総回収量	燃回収量 (年間の発電電力量 kWh)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
中間処理による減量化量	減量化量 (中間処理前後の差 トン)	92 (65.7%)	0 (0.0%)	97 (63.0%)	98 (31.2%)	97 (47.1%)	77 (46.7%)
最終処分量	埋立最終処分量 (トン)	38 (27.1%)	0 (0.0%)	51 (33.1%)	209 (66.6%)	103 (50.0%)	80 (48.5%)

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する (添付資料2)。

3 一般廃棄物処理施設の現状と更新、廃止、新設の予定

施設種別	実施主体	現 有 施 設 の 内 容				更新、廃止、新設の内容				備考
		型 式	及 び 処 理 方 式	補助の有無	開始年月 (単位)	更新、廃止、新設理由	型 式 及 び 処 理 方 法	施設竣工予定年月	処理能力 (単位)	
焼却施設	知夫村	固定バッチ燃焼式	無	無	1.44 t/12h S.63.10	現有施設の老朽化	固定バッチ燃焼式	H.27.3	150t/年	可燃ごみ

※ 計画地域内の状況 (現状、予定) を地図上に示したものを添付する (添付資料1)。

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 (平成25年度)

事業種別		事業 番号	事業主体 名称	規模	事業期間		総事業費（千円）		交付対象事業費（千円）		備考
事業名称					交付期間		平成 25年度	平成 26年度	平成 25年度	平成 26年度	
○施設整備に関する計画支援に関する事業											
		31	知夫村		H25	H25	17,000	0	17,000	17,000	0
土地造成測量調査設計費					H25	H25	5,000	0	5,000	5,000	0
建屋設計費		31	知夫村		H25	H25	5,000	0	22,000	5,000	0
焼却炉設計費		31	知夫村		H25	H25	2,000	0	2,000	2,000	0
環境調査費		31	知夫村		H25	H25	5,000	0	5,000	5,000	0
○焼却場整備に関する事業											
							138,000	0	138,000	0	138,000
可燃ごみ焼却施設		1	知夫村	150 kg/h	H26	H26	138,000	0	138,000	138,000	0
合 計							155,000	17,000	138,000	155,000	138,000

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業 番号	施策の名称等	施策の概要	実施 主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考	
					開 始	終 了		平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度		
発生抑制、再 使用の推進 に関するもの	11	ごみ処理手 数料	ごみ袋料金 の見直しを検 討する。	知夫 村	H25	H29								
								検討						
										実施				
施設整備に 係る計画支 援に関するも の	31	1の計画支援		知夫 村	H25	H25	○	測量 調査						
処理施設の 整備に関する もの	1	可燃ごみ焼 却施設	現有施設の 老朽化に伴う 施設整備事 業	知夫 村	H26	H26	○	既存施 設を H.26.3 に廃止 予定	工事					
その他	41	環境教育	ごみ処理施 設見学等	知夫 村	H25	H29								
								実施						
	42	普及啓発	ごみゼロ、イ ベントを通じ て3Rの普及 啓発	知夫 村	H25	H29								
								実施						
	43	マイバッグ運 動・レジ袋対 策	レジ袋配布の 自粛、マイ バッグ運動の 推進	知夫 村	H25	H29								
								実施						
	44	廃家電・パソ コンのリサイ クルに関する 普及啓発	廃家電等のリ サイクルを引 き続き普及・ 啓発を行う。	知夫 村	H25	H29								
								実施						
	45	不法投棄対 策	地元住民等 によるパト ロールの強 化に努める。	知夫 村	H25	H29								
								実施						

施設概要(焼却施設)

都道府県名 島根県

(1)事業主体名	知夫村
(2)施設名称	(仮)知夫村ごみ焼却施設
(3)工期	平成26年度
(4)施設規模	処理能力 1.2t/日 (1.2t/日×1炉)
(5)形式及び処理方法	固定バッチ燃焼式
(6)余熱利用の計画	1. 発電の有無 有(発電効率 %)・ ☒ 無 2. 熱回収の有無 有(発電効率 %)・ ☒ 無
(7)地域計画内の役割	知夫村地域における可燃物の処理
(8)廃焼却炉施設解体工事の有無	☒ 有 ☐ 無

「灰溶融施設」を整備する場合

(9)スラグ利用計画	
------------	--

「高効率原燃料回収施設」を整備する場合

(10)発生ガス回収効率及び発生ガス量	
(11)回収ガスの利用計画	
(12)事業計画額	138,000千円

計 画 支 援 概 要

都道府県名 島根県

(1) 事業主体名	知夫村		
(2) 事業目的	可燃ごみ焼却施設整備のため		
(3) 事業名称	知夫村地域ごみ焼却施設整備に係る測量・調査・設計業務委託（仮称）		
(4) 事業期間	平成25年度 ～ 平成25年度	平成 年度 ～ 平成 年度	平成 年度 ～ 平成 年度
(5) 事業概要	・土地造成に関する測量・調査・設計 ・建屋設計 ・焼却炉設計 ・環境調査		
(6) 事業計画額	17,000千円		